新潟大学理学部地質科学科　地質エンジニアリングコース

育成しようとする自立した技術者像

2013/03/11 制定
2016/11/30 改訂

綿密な踏査や観察に基づいて，地層・岩石の歴史性の認識や地下構造の三次元的な把握ができ，地圏の土木開発・資源開発・防災・環境保全等の分野で，計画性・協調性・実行力・倫理観をもって活躍する地質技術者

2004/04/05 制定
2006/03/22 改訂
2010/05/12 改訂
2010/10/27 改訂
（2012JABEE基準改訂に対応）2013/03/11 改訂
2016/11/30 改訂
（平成29年度以降入学者に適用）2017/03/22 改訂

表１　学習・教育到達目標と基準１（２）との対応

基準１（２）の知識・能力 ＼ 学習・教育目標	(a) 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養	(b) 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者が社会に対して負っている責任に関する理解	(c) 数学及び自然科学に関する知識とそれらを応用する能力	(d) 当該分野において必要とされる専門的知識とそれらを応用する能力			(e) 種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力	(f) 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力	(g) 自主的、継続的に学習する能力	(h) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め，まとめる能力	(i) チームで仕事をするための能力
				地圏の開発と防災	資源の開発と生産	資源循環と環境					
（A）良識ある技術者に必要な人文社会科学などの基礎および語学・コミュニケーション能力を身につける。	◎	○						◎			
（B）岩石・鉱物・地層の物質的性質について理解し，説明できる。				◎							
（C）岩石・鉱物・地層の歴史的性質について理解し，説明できる。				◎							
（D）デザイン能力の一環をなす，社会の要請への地質科学の対応について理解し，説明できるとともに，技術者倫理を身につける。		◎		◎			◎				
（E）野外の地質に関する基本的なデータ取得とまとめができる。				◎				○		◎	
（F）野外の産状に密着した地質学的課題を解決する計画を立案し，複数の解決策や与えられた制約を考慮したうえで計画的・自主的に情報を取得し，チームでの議論を経て，総合的に解析できる。これらを通じ，デザイン能力を身につける。							◎	○	◎	◎	◎
（G）収集した情報を整理・再構成して自ら表現できる。								◎			○
（H）広範な問題解決のために，自然科学の多様な分野の基礎を身につけるとともに，地質科学の先端のトピックを理解し，説明できる。			◎	○							